

候補地の選定状況についての報告

奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会

奈良市の現有のごみ処理施設(環境清美工場)は、稼働開始からすでに25年を経過し老朽化しており、ごみ質の変化に対応し、リサイクルを進めるために、新しい処理施設を整備する時期に来ています。一方で、現有施設については公害調停が締結され、新しい処理施設の建設については、移転先を決定してから取りかかることになりました。

ごみ処理施設の移転建設計画の策定にあたっては、平成18年2月に学識経験者、自治連合会の代表、公募市民等、21名が参画する「奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会」を設置し、現在まで29回の会議を経て、協議・検討してきました。

平成19年11月には、「ごみ焼却施設移転建設計画の策定(中間報告)」として報告し、15カ所の移転候補地を公表いたしました。この「中間報告」に対しては、多くの市民から意見をいただきました。これを受けて、平成20年4月には、住宅地や活断層の近接状況・土地の形状を考慮して9カ所に絞り込み、この9カ所の候補地(隣接地を含む)を対象に、平成20年10月からの2ヶ月間と、平成21年4月の1ヶ月間の2度に渡り、用地の募集を行いました。

以上の過程を経て、9カ所の候補地について、① 環境への影響度、② 経済効率、③ 用地取得の難易度の3項目で比較し、平成21年11月13日に開催した第29回委員会で、以下の4カ所を候補地として選定しました。

(候補地区)

- ⑥－ 1 川上町、中ノ川町地内 14.9 ha
- ⑥－ 2 中ノ川町、東鳴川町地内 33.3 ha
- ⑨－ 1 東鳴川町、法用町、中ノ川町、平清水町地内 79.9 ha
- ⑨－ 2 中ノ川町、生琉里町地内 20.38 ha

(地図上に記載しています)

今後、ごみ処理施設を建設するにあたっては、上記いずれの地点であっても、幹線道路の整備が重要になります。この問題に関しては、東部地域から要望を頂いておりますので、委員会は重要事項と判断して、要望に応えるべく、先ずこの問題から関係地域の住民の方々と話し合う必要があると認識しています。

ごみ処理施設は公共の施設であり、その運営には、地元の理解と協力が必要です。そこで、周辺住民の意見・要望を踏まえながら最終候補地の選定作業を行いたいのです。是非とも、新しいごみ処理施設の計画策定にご意見をいただきたいので、ここに報告する次第です。

(問い合わせ先) 奈良市ごみ焼却施設移転建設
 計画策定委員会事務局
 奈良市環境清美部施設課
 TEL : 0742 - 71 - 3220
 FAX : 0742 - 71 - 3392
 E メール: kan-shisetsu@city.nara.lg.jp

○新たに整備を予定しているごみ処理施設の概要

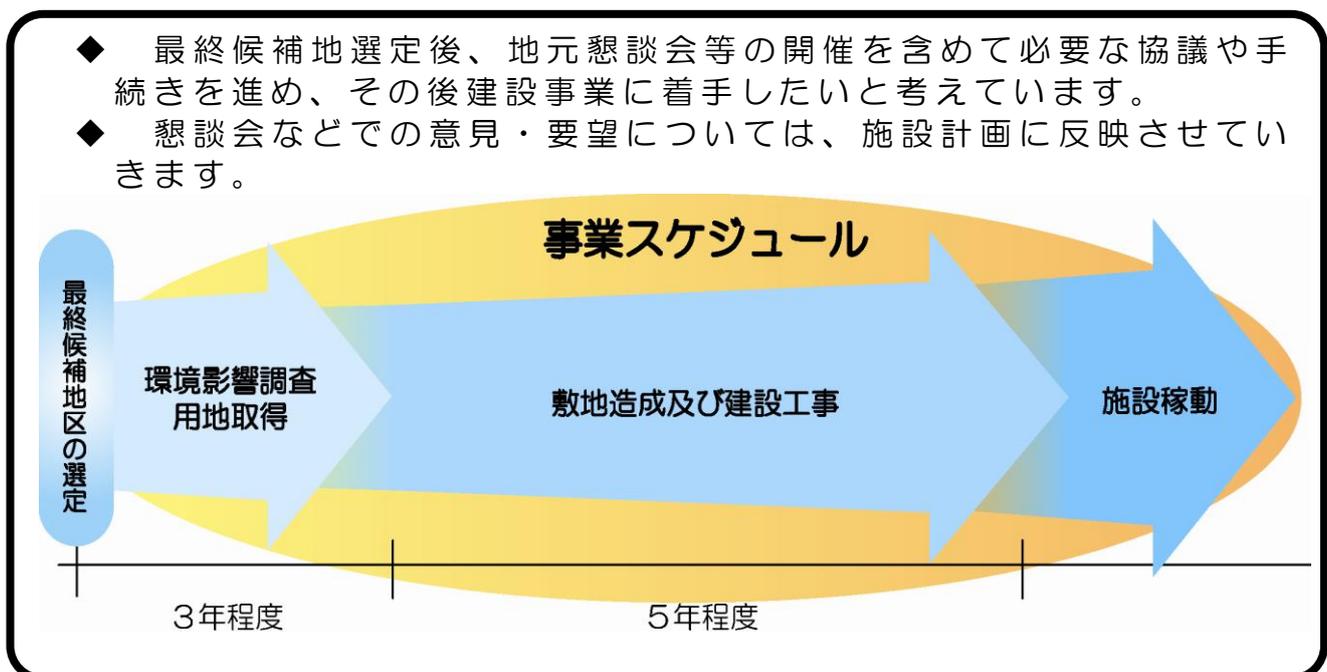
(奈良市資料)

・ 整備面積	: 約 10ha〔施設整備面積〕
・ 施設規模	: ごみ焼却施設 約400トン/日〔処理能力〕 : リサイクルセンター 約100トン/日〔処理能力〕
・ 受入廃棄物	: 市内の各家庭、事業所からの可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、再生資源(缶、びん、ペットボトル、紙パック、新聞・雑誌・ダンボールなど)

○事業スケジュール(予定)

(奈良市資料)

- ◆ 最終候補地選定後、地元懇談会等の開催を含めて必要な協議や手続きを進め、その後建設事業に着手したいと考えています。
- ◆ 懇談会などでの意見・要望については、施設計画に反映させていただきます。



■ 絞り込まれた候補地の位置図

